

第18期(平成29年10月1日～平成30年9月30日) 事業計画

部 門	支 援 事 業	活 動 内 容
JMCA支援部 PM:矢島重比古	NPO JMCA (NPO日本メディカルライター協会)	JMCA事務局の業務を継続して受託する予定。 ・年間計画に基づき、セミナー実施のための準備と当日運営の予定。総会・講演会(春)、シンポジウム(秋)、メディカルライティング基礎講座(2日連続で1回)、メディカルライティング上級講座等 他数案件追加予定。 ・年間計画以外に、株式会社マッキンゼンヘルスケアワールドワイド及び小児アレルギー学会主催セミナーの事務局業務請負 ・他に、引き続き賛助(企業・団体)会員を中心とした会員からの依頼に柔軟に対応する。企業向けのインハウスセミナーの開催も、収益事業として継続する見込み。
日本臨床試験学会 支援部 PM: 松浦千恵子	臨床試験学会	1. 第9回学術集会総会開催(仙台2018/1/23.24) ONE FOR ALL ALL FOR ONE「新たな臨床試験の幕開け」 会長;山口拓洋 2. 理事会開催(年2回) 3. 運営委員会開催(年4～5回) 4. 各種委員会の開催(年15～20回) 5. 学会誌発刊(年2回、会員への配達) 6. GCP認定試験の実施(パスポート2回、エキスパート1回) 7. がん臨床研究専門職認定試験(年1回) 8. モニタリング技能検定試験(年1回) 9. 教育セミナー開催(年20回程度) 9. 学会編集の図書発刊・販売 10. 臨床研究法対応検討委員会の成果物の発表(学会・会誌) 11.会員専用HPの運用
*公益事業支援部 松浦千恵子	外部セミナー受託事業	第3回「CRCの明日を考える in 大阪」運営事務局(2018年2月3日)

第18期(平成29年10月1日～平成30年9月30日) 事業計画

部 門	支 援 事 業	活 動 内 容
きぼうときずな PM: 塚原幹子		<p>東日本大震災被災住民医療支援プロジェクト 福島県内自治体(富岡町)へ医療支援車を使った継続的医療支援 NPO直接雇用保健師・看護師派遣、聖路加国際大学関係保健師・ 看護師による現地支援活動 被災住民の心と体のケア、住民ニーズの把握と行政への提供 2017年4月～2018年3月 復興庁補助事業「心の復興」で、心と体の栄養復興プロジェクトを企画運営。学生による被災住民との心の交流を軸に、健康支援活動を実施。 2017年6月～2018年3月福島県庁補助事業「ふるさとふくしま交流・相談支援事業」で富岡あんしんプロジェクトを企画・運営。安心して睡眠をとれる環境作りを中心とした健康支援を実施。 2017年7月～2018年3月 いわき市よりがん検診奨励業務を受託、コールセンターより再検査未受診者へ個別連絡業務実施。 2017年1月～ 基礎自治体で特定健診・保健指導データを活用するためのシステム開発に関する糖尿病患者・予備軍対策プロジェクトを始動 2017年11月～2019年6月 「覚せい剤依存症患者におけるイフエンプロジェクトの効果検討とfMRIを基点としたバイオマーカーの開発：二重盲検不作為化比較試験」の割付業務 担当:大橋 石井 相場 塚原 赤坂 石黒 梅原 鬼丸</p>
PRP不妊治療臨床研究		山王病院によるPRPを用いた不妊治療臨床研究実施 研究実施予定期間 研究許可日～2018年12月
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・覚醒剤の臨床試験 ・特定臨床試験審査委員会の支援 (新しい臨床研究法対応で、生物統計家による審査支援。) ・PRPのOAとスポーツ医療の試験準備